

# 宮津市文化的景観フォーラム 「文化的景観とまちづくり」

令和8年 **3** 月 **22** 日 (日)

午後2時から4時30分

みやづ歴史の館3階 大会議室

参加料：無料 申込み：不要 [当日、先着順]

**講演** 外国人がみた明治時代の宮津と景観

松田法子先生 京都府立大学准教授

**事例報告** ① 旧三上家住宅の保存と活用

高岡洋輔 NPO 法人 天橋作事組

② ちしやの再生と活用

羽田野まどか (株) 宮津町家再生ネットワーク

※お車でお越しの方は、パーキング浜町にご駐車ください。

# 城下町として発展した 宮津地区の魅力とその活かし方とは？！

## 宮津市文化的景観フォーラム「文化的景観とまちづくり」

日時：3月22日（日） 午後2時から4時30分  
会場：みやづ歴史の館3階 大会議室

14：00 趣旨説明 宮津地区の文化的景観の特徴

14：15-14：55 講演

外国人がみた明治時代の宮津と景観

松田法子先生 京都府立大学准教授

15：00-15：40 事例報告

①旧三上家住宅の保存と活用

高岡洋輔 NPO 法人 天橋作事組

②ちしやの再生と活用

羽田野まどか (株) 宮津町家再生ネットワーク

15：50-16：30 パネルディスカッション

松田法子先生、高岡洋輔、羽田野まどか

(聞き手：河森一浩 宮津市教育委員会)



旧三上家住宅 重要文化財

江戸時代の宮津城下町を代表する商家。酒造業を営み、北前船の船主として活躍した。



ちしや

呉服屋の接待用に使われた建物。昭和2年に建築された。「ちしや」は呉服屋の屋号。

## ◆ 文化的景観とは？ ◆

文化的景観とは、各地域の風土に根ざして営まれてきた、人々の生活や生業によって生み出された景観です。自然との共生の中で育まれた農村、漁村、山村などのほか、城下町や門前町などにも歴史や生活の個性が表れています。

宮津市では、平成26年に天橋立および府中地区が、平成27年には文珠地区が重要文化的景観に選定され、その保存と活用が進められています。



新濱のまちなみ